

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-98771

(43)公開日 平成10年(1998)4月14日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
H 04 Q 7/38		H 04 Q 7/04
7/32		H 04 M 1/00
H 04 M 1/00		3/42
3/42		11/00 3 0 2
11/00	3 0 2	H 04 B 7/26 V

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全6頁)

(21)出願番号 特願平8-273030

(71)出願人 000003104

東洋通信機株式会社

(22)出願日 平成8年(1996)9月24日

神奈川県高座郡寒川町小谷2丁目1番1号

(72)発明者 栗田 淳

神奈川県高座郡寒川町小谷2丁目1番1号

東洋通信機株式会社内

(74)代理人 弁理士 鈴木 均

(54)【発明の名称】 携帯電話システム

(57)【要約】

【課題】 携帯電話機の使用者が着信を認知しても電話に出ることが許されない状況にあるときに、電話をかけてきた相手からのメッセージを文字データとして携帯電話機に送信するが可能な携帯電話システムを提供する。

【解決手段】 緊急の電話の場合、基地局1は伝言を入れることを促す音声メッセージを相手側に送出した後、相手側から送られてくる音声信号を音声／文字変換部1 1で文字データに変換して携帯電話機2へ伝送する。携帯電話機2は基地局1からの文字データを受信すると、バイブレータ2 4を振動させて着信があったことを使用者に知らせ、受信した文字データをEEPROM1 9に記憶するとともに、表示部2 0に文字データを表示する。EEPROM1 9に記憶されている文字データは操作部2 1を操作することにより何時でも表示部2 0に表示することができる。

